

Unit5「世界の言語と宗教と人々の生活」

②宗教と人々の生活

教p88～89 資料p242～243

ねらい

C目標 宗教に関する統計データを批判的に分析し、宗教と人々の生活を学習する際の注意点を考察しようとしている。

B目標 宗教に関する統計データを多面的に考察・分析することができる。

A目標 「世界宗教」と「民族宗教」の分布図と統計データの特徴を読み取ることができる。

本時の流れ

- (1) 課題1 「各宗教の地域的な分布の傾向」について、グループで共有する。
- (2) 課題2 「宗教は、教科書の宗教分布のように地図化できるものか」を考察する。
→個人で取り組む → グループで意見を出し合う → 全体で共有
- (3) 課題3 「インドの宗教分布とインドの畜産物の統計データから何が分かるか」に取り組む。
→個人で取り組む → グループで意見を出し合う → 全体で共有
- (4) 課題4 今日の授業を踏まえ、「宗教と人々の生活文化を学習する際、どんな点に注意しなければならないか」について、自分の考えを記入する。

・グループの割り当て

*書記係(スプレッドシートへの記入)は、誕生日が今日から最も遠い人

黒板

		4	
1		5	8
2		6	9
3		7	10

(1) 課題「各宗教の地域的な分布の傾向」について、グループで確認する

(グループで確認する内容)

①各宗教の地域的な分布の傾向を確認する。

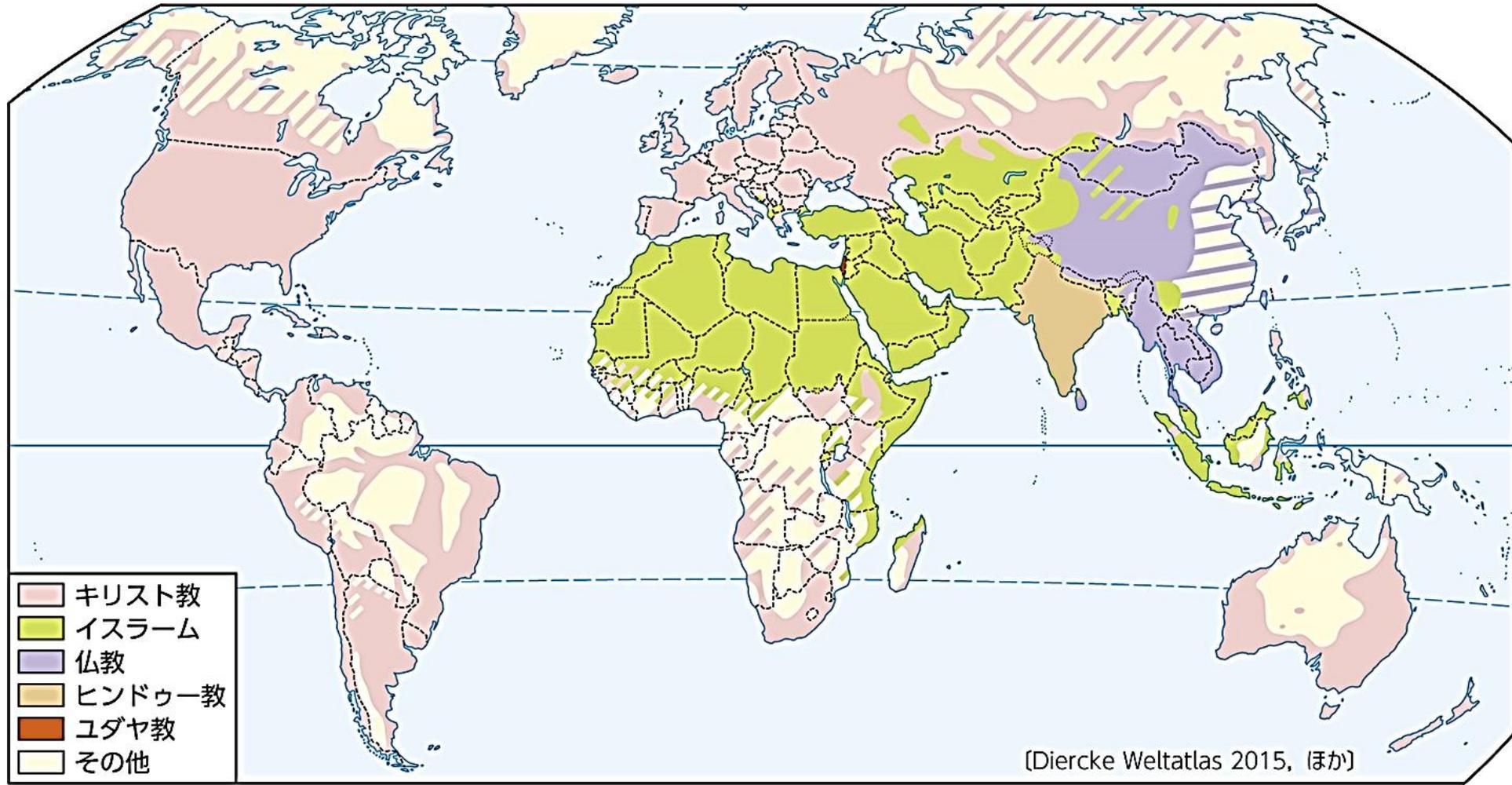
→「どこに、どんな宗教が分布しているか」

②「世界の宗教の分布」の図から、「なぜ、そうなっているのだろうか?」という問いをグループで1つ立てる。

→書記係は、スプレッドシートに記入する

- (2) 課題2 「宗教は、教科書p89の宗教分布のように地図化できるものか」を考察する。
○教科書の「世界の宗教の分布」を批判的にみて、正確ではないと考えられるポイントを個人で考え、グループで意見交換しよう→書記係は、グループの意見をまとめてスプレッドシートに記入する。sけあい

世界の宗教の分布



課題3「インドの宗教分布とインドの畜産物の統計データから何が分かるか」に取り組む。

- ・次に示す各統計資料をもとに立てた「なぜ、そうなっているか」問いを自分で立て、その答えをグループで意見交換する
- ・書記係は、グループの意見をまとめてスプレッドシートに記入する。

統計2-1 インドの人口(2020年) 13億8000.4万人

2-2 宗教構成(2011年)

宗教	割合(%)	宗教人口数
ヒンドゥー教	79.8	約11億人
イスラム教	14.2	約1.9億人
キリスト教	2.3	約3100万人
シーク教	1.7	約2300万
仏教	0.7	約900万人
ジャイナ教	0.4	約500万人

ターバン撒いた
インド人は...



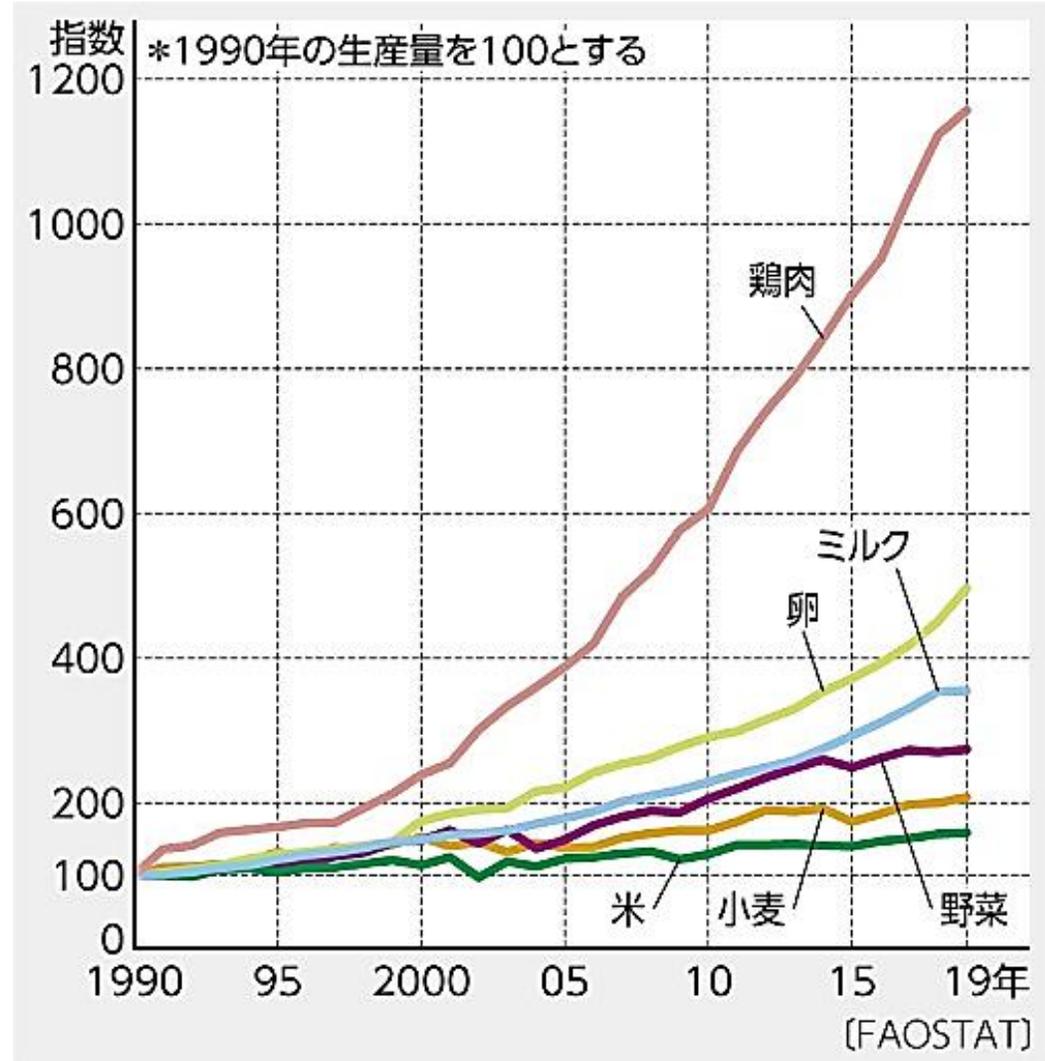
課題3「インドの宗教分布とインドの畜産物の統計データから何が分かるか」に取り組む。

統計2-3 牛の頭数上位5カ国(2018年)

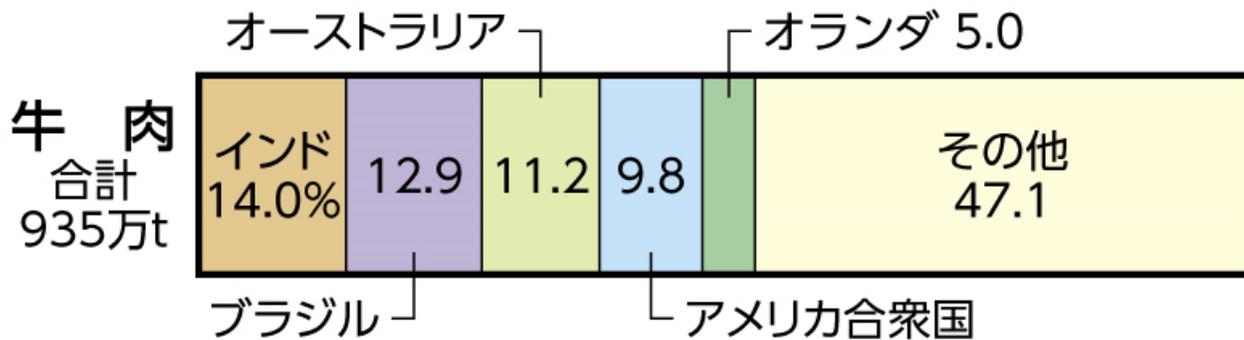
国名	万頭
ブラジル	21,352
インド	18,446
アメリカ合衆国	9,430
中国	6,327
エチオピア	6,260



統計2-5 インドの主な農畜産物の推移



統計2-4 牛肉の輸出量(2017年)



(2017年) [FAOSTAT]

(4) 課題4

今日の授業を踏まえ、「宗教と人々の生活文化を学習する際、どんな点に注意しなければならないか」について、自分の考えをスプレッドシートに記入する。

<注意事項>

- ・「結論(自分の考え)→理由(そう考えた理由)」の順で持論を展開する。
- ・主語を明確にする。
- ・用語を適切に使用し、コンパクトな文章にする。
- ・一文は、多くても80字以内におさめる。
- ・一文で示す内容は、2つ以内。

次回予告

「宗教と人々の生活」のパフォーマンス課題に取り組む

- ① 宗教は、私たちの生活や産業とどのようにかかわっているかを、事例地域を挙げながら説明することができる。
- ② ①を踏まえ、「人々の生活や産業に宗教はどのように影響しているか」について自分の考えを述べることができる。